

麻生医療福祉&保育専門学校福岡校

課程修了の方針（ディプロマ・ポリシー）

学科の求める教育目標に基づき、所定の単位を修得し、定められた試験に合格したうえで、学修成果が次の到達目標に達した学生に対し、専門士の称号を付与し、卒業を認定する。

【社会福祉科】

1. 専門的知識・技術

- ① 社会福祉の幅広い領域を学ぶ中で、こども家庭福祉を中核とした専門的な知識・技術を修得する。
- ② 福祉専門職として求められる企画・運営力・問題解決能力等を伴った実践的な能力が身に付いている。

2. 専門職の土台となる人間力

- ① 自己覚知を深め、自らの生き方や果たすべき責任について考察する力を有している。
- ② 基本的人権を尊重する価値観を有し、多様化、複雑化している生活課題と社会問題に対して論理的思考に基づいて解決していこうとする力がある。

3. 社会貢献力

- ① 協働する他職種や支援が必要な人々と心を通わせ、協力して目標を達成する姿勢を有している。
- ② 自身が地域や社会の一員であることを自覚し、地域共生社会の実現を目指す意識を持つことができる。

4. 意欲・態度

- ① 自らの学びを通して、積極的に人々や地域社会に関わっていこうとする意欲をもっている。
- ② 主体的に学ぶ向上心を持ち、自己研鑽に努め行動にうつすことができる。

【こども未来学科】

1. 専門的知識・技術

- ① 社会人として必要な教養を身に付け、保育を实践する上での知識・技術を習得している。
- ② 多様化する保育ニーズを捉え、個々の状況に応じた保育を組み立てることができる。
- ③ 保育に必要な基本的な表現方法が身についている。

2. 専門職の土台となる人間力

- ① 保育を行う上で、円滑な人間関係を構築していく為の素直さ、謙虚さを持ち合わせている。

- ② 社会人として必要なマナー・ルールを身につけている。

3. 社会貢献力

- ① 子どもの人格を尊重し、子どもの最善の利益とその命を守り情緒の安定を図りつつ、乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくよう援助する事が出来る。
- ② 保育者の職務を通して社会に貢献する力を身につけている。

4. 意欲・態度

- ① 地域・学内及び附属保育園などでの実践を通じ、信頼される保育者となる為に自ら学び続ける主体性を身に付けている。
- ② 多様な立場の人と支え合い協働できる姿勢を備えている。

【こども保育科】

1. 専門的知識・技術

- ① 保育を実践する上での知識・技術を習得している。
- ② 多様化する保育ニーズを捉え、個々の状況に応じた保育を組み立てることができる。
- ③ 保育に必要な基本的な表現方法が身につけている。

2. 専門職の土台となる人間力

- ① 保育を行う上で、円滑な人間関係を構築していく為の素直さ、謙虚さを持ち合わせている。
- ② 社会人として必要なマナー・ルールを身につけている。

3. 意欲・態度

- ① 地域・学内及び附属保育園などでの実践を通じ、保育者として社会に貢献する。
- ② 多様な立場の人と支え合い協働できる姿勢を備えている。
- ③ 保育者としての課題意識を常に持ち、解決する為に自ら行動し学び続ける力を有している。

【医療秘書・事務科】

医療の現場でプロフェッショナルとして必要な知識・技術（医療事務、接遇マナー、PCスキルなど）を発揮できる。

社会性を身に付け、感謝心と思いやりを持ち、多くの人と様々な場面で協力することができる。

卒業後も職業人として自己研鑽に励み、成長しようと努力し続ける姿勢がある。

- (1) 医療の現場でプロフェッショナルとして必要な知識・技術（医療事務、接遇マナー、PCスキルなど）を発揮できる。
- (2) 社会性を身に付け、感謝心と思いやりを持ち、多くの人と様々な場面で協力することができる。
- (3) 卒業後も職業人として自己研鑽に励み、成長しようと努力し続ける姿勢がある。

【診療情報管理士科】

- (1) 診療記録を正確に管理するために必要な知識を幅広く学び、診療情報管理士資格の取得を目指す。
- (2) 情報分析に必要な PC スキルを身に付け、医療の質の向上および病院経営に貢献できる。
- (3) 社会性を身に付け、感謝心と思いやりを持ち、多くの人と様々な場面で協力することができる。
- (4) 卒業後も職業人として自己研鑽に励み、成長しようと努力し続ける姿勢がある。

【診療情報管理士科専攻科】

- (1) 診療記録を正確に管理するために必要な知識を幅広く学び、診療情報管理士資格の取得を目指す。
- (2) 情報分析に必要な PC スキルを身に付け、医療の質の向上および病院経営に貢献できる。
- (3) 社会性を身に付け、感謝心と思いやりを持ち、多くの人と様々な場面で協力することができる。
- (4) 卒業後も職業人として自己研鑽に励み、成長しようと努力し続ける姿勢がある。

【福祉心理学科】

1. 専門的知識・技術

- ① 精神保健福祉士及び社会福祉士に関する専門的な知識・技術を修得し、それを活用できる力を身につけている。「専門職としての知識・技術」
- ② 心理学やカウンセリング技術、社会的リハビリテーションに関する知識やスクールソーシャルワーカー（SSW）に求められる基礎的な知識を修得し、それを活用できる力を身につけている。「対人援助に関する知識・実践力」

2. 専門職の土台となる人間力

- ① 自分自身を知り、自身の課題と向き合える力を身につけている。「自己理解」
- ② 他者を知り、違いを認めることができる力を身につけている。「他者理解」
- ③ 感謝や思いやりの心を持ち、社会生活における規範やマナーなどの基礎的な能力が身につけている。「感謝心と社会性」

3. 専門職としての社会貢献力

- ① 社会的な課題や生活課題を抱えている人への関心を払い、向きあうことができる。「社会への関心」
- ② 実習やボランティア活動を通じて、すべての人が社会を構成する一員として共生していることを実感できる。「社会参加」

4. 協働・意欲・態度

- ① コミュニケーション技術を活用し、他者との積極的な交流を通じて協働で課題に取り組むことができる。「他者との協働」
- ② チームの中で自らの役割を意識し、責任を持って取り組むことができる。「責任と行動」

【介護福祉科】

1. 専門的知識・技術

- ① 介護福祉士養成課程における指定科目及び実習履修を修了し、介護福祉士国家試験に合格できる水準の知識を身につける。
- ② 他者支援に必要なコミュニケーション力を身につける。
- ③ 根拠に基づいた的確な思考力・判断力・実践力を身につける。

2. 専門職の土台となる人間力

- ① 自分自身と向き合い対人援助を行う上で必要な自己理解ができる。
- ② 多様な価値観を認め、他者理解を深めることができる。
- ③ 素直で豊かな感性を育み、利用者に愛情と熱意をもって接することができる。

3. 社会貢献力

- ① 多職種連携（※）における実践力を身につける。
- ② 協調性を養い、チームビルディングを実践する力を身につける。

4. 意欲・態度

- ① 介護・福祉の仕事に誇りを持ち、業界の課題に取り組み続ける。
- ② 自分自身の能力を発揮し、向上心を持ち学び続けることができる。

（※）多職種連携とは質の高いケアを提供するために、医療福祉のそれぞれの専門職が連携し、共有した目標に向けて共に働くこと。

【国際介護福祉科】

1. 専門職としての健全な倫理観をそなえ、医療福祉分野固有の能力・技術を身に付けた人
2. 社会貢献のために責任ある行動ができる人